

平成28年度 事務事業評価

（
事務事業マネジメントシート
事務事業管理シート
）

宗像市

目 次

【元気を育むまちづくり】

- 1 グローバル人材の育成と国際交流の推進 1
- 2 高齢者の健康づくり、生きがいつくり、場づくり 4
- 3 自立した生活の支援 6

【賑わいのあるまちづくり】

- 4 資源を活かした島の活性化 16
- 5 歴史文化の保存と活用 21

【調和のとれたまちづくり】

- 6 快適な生活環境の保全 25
- 7 自然環境の保全と再生 29

【みんなで取り組むまちづくり】

- 8 情報受発信の充実 32

事務事業の概要

事務事業名	ALT派遣事業			事業番号	45006	
所管名	教育子ども部教育政策課学務係			所管番号	430102	
事務区分	その他事務	事業期間	H 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等	なし					
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	グローバル人材の育成と国際交流の推進	区分	グローバル人材の育成
	施策の方向性	グローバル化が進展するなか、自治体においても世界に目を向け、将来さまざまな分野で中核的な役割を果たしていくグローバル人材を育成していくことが必要です。 語学力やコミュニケーション力を身につけるだけでなく、自国の文化を学び、異国の文化に触れる機会の充実や国際交流の推進を図りながら、市全体でこれからのグローバル化に対応した取組みを進めていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市内小・中学校の児童生徒	が	小学校の外国語活動及び中学校の外国語科における、発達段階に即した効果的かつ継続的なALTの活用を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるとともに、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく身に付けた「英語が使える宗像の子」の育成を図る(「宗像市ALT配置事業基本方針」より)。
----	--------------	---	---



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	各中学校区に1人程度、計7人のALTを配置するとともに学校とALTを連携させるALTマネージャーを配置した。引き続き外国語活動推進校1校を指定しALTを常駐。また、家庭・地域で子どもたちの学力を高める「子どもの学習の場」にも引き続き1人配置。外国語に「出会う」→「慣れ親しむ」→「深める」→「生かす」活動を通して、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく身に付けた「英語が使える宗像の子」の育成を図った。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	「英語勉強好き」の中3の割合	宗像市学習意識調査「英語を勉強することが好きか(とても思う、思う)」の割合	%	72	71	63	79
活動指標	ALT授業時間数(小学校・1校あたり)	全小学校のALT授業時間数÷小学校数	時数	175	183	182	/
	ALT授業時間数(中学校・1校あたり)	全中学校のALT授業時間数÷中学校数	時数	212	223	226	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			36,889	38,155	42,277	4,122	
特定財源(千円)			0	0		0	
一般財源(千円)			36,889	38,155	42,277	4,122	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	ALT配置の取組みは、外国語活動・外国語授業時間以外の活動にも積極的にかかわり、「深める」「生かす」活動の源となっている。この取組みは施策の方向性である「語学力やコミュニケーション力をつけ」「異国の文化に触れる機会の充実」の推進に繋がっている。	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるには、小中一貫教育をふまえ、発達段階に即した取組みが必要であるため、今後も、効果的かつ継続的にALTを活用し、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく身に付けた「英語が使える宗像の子」の育成に取り組んでいく。
活動指標	→		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
協働の推進	●福岡教育大学、福津市と協働し、共同研究プロジェクト取り組みことで、教職員の育成を図ります。●地域、家庭と協働し、学力を向上させるための地域での教育や家庭教育に取り組みます。	福岡教育大学と連携し、赤間西小学校を研究指定校とし、外国語活動の実践研究を行った。
	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	●小中一貫教育を核として、ICTを活用した教育などを推進し、学力向上を図ります。●大学や企業と連携し、それぞれの知識や技術を活用した専門性の高い教育を提供します。	電子黒板等のICTを活用した授業を行い、興味関心を高めた。福岡教育大学と協働し、実践研究の成果を各学校で共有し、共催の研修会を開催した。

事務事業の概要

事務事業名	グローバル人材育成推進事業			事業番号	11010	
所管名	教育子ども部子ども育成課グローバル人材育成係			所管番号	430803	
事務区分	その他事務	事業期間	H 26 年度 ~ H 一 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	グローバル人材の育成と国際交流の推進	区分	グローバル人材の育成
	施策の方向性	グローバル化が進展するなか、自治体においても世界に目を向け、将来さまざまな分野で中核的な役割を果たしていくグローバル人材を育成していくことが必要です。 語学力やコミュニケーション力を身につけるだけでなく、自国の文化を学び、異国の文化に触れる機会の充実や国際交流の推進を図りながら、市全体でこれからのグローバル化に対応した取組みを進めていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。	
対象	小・中学生を中心とした青少年
が	コミュニケーション能力や主体性、チャレンジ精神、他者との協調性など、グローバル人材に必要な能力を向上を図り、国際社会で活躍できる人材になる。



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H28年度の活動内容	グローバル人材育成プランに基づき、関係部署、関係団体の活動を支援、コーディネートを行い、学校や地域、団体、企業等と積極的に連携し、宗像国際育成プログラムや海外研修事業、宗像ガイド事業、イングリッシュ・キャンプなどを実施するとともに、APCCや日本の次世代リーダー養成塾と協力し、グローバル人材育成の推進を図った。「グローバル人材育成協議会」、「グローバルネットワーク座談会」を開催し、産学官民でグローバル人材育成と国際交流を推進を図った。事業の参加者に対して、事業後も交流できる場や情報提供など継続的な支援を行った。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	英語を勉強することが好きな中学生の割合	学習意識調査で英語を勉強することが好きと思う中学生の割合	%	68.2	66.7	62.9	70
活動指標	小学生・中学生・高校生のグローバル人材育成事業参加者数	市主催事業への小学生・中学生・高校生の延べ参加者数	人	0	313	458	/
	むなかたガイド参加者数	各回参加者数の合計	人	28	82	173	
		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算		前年度比	
事業費(千円)		353	14,443	14,578		135	
特定財源(千円)		0	1,542	2,073		531	
一般財源(千円)		353	12,901	12,505		▲ 396	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	本市の目指すグローバル人材像である「お互いを尊重し、そうぞう力を持って、世界とコミュニケーションができる」人材を育成するため、青少年を中心に多様な事業を実施し、施策の方向性である「グローバル人材育成の推進」を図った。	英語を勉強することが好きと思う中学生の割合を増加させるには、より多く子ども達に、英語を使ったコミュニケーションや外国人との交流の楽しさなどを体験してもらうことが必要である。そのため、子ども達への事業PRの充実を図るとともに、多くの子ども達が参加できるよう事業の改善や充実に取り組んでいく。
活動指標	↑		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
協働の推進	・ホームステイ受入実施。・宗像ガイド事業実施。・宗像歴史未来塾実施。・APCC連携事業実施。	APCCを含むホームステイの受入、むなかたガイド研修、宗像歴史未来塾などを実施した他、グローバルネットワーク座談会を新たに開催し、市民協働による新規の事業イングリッシュカフェ、グローバルカップ運動会with留学生、ワールドトリップを実施した。
	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	・本市とトヨタ自動車九州と宮若市が協働で、グローバル人材育成のための海外研修事業実施。・宗像国際育成プログラム実施。・青少年海外派遣事業実施。・イングリッシュ・キャンプinむなかた実施。・日本の次世代リーダー養成塾。	2件の海外研修、イングリッシュ・サマーキャンプ及びデイキャンプ、宗像国際育成プログラムを実施した他、日本の次世代リーダー養成塾の市内開催や宗像歴史未来塾作成絵本のJALラウンジ及び機内に設置など都市ブランドの向上に寄与した。

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標			事業費①(千円)			
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
グローバル 人材の育成 と国際交流 の推進	国際交流の 推進と体制 の整備	国際交流事業	秘書政策課 秘書政策係	市民が、国際交流指針に基づき、国際交流全般に関する連絡調整を行う。姉妹都市金海市及びパートナーシップ都市カザンラック市との行政レベルでの交流を充実・発展させるとともに、民間レベルでの交流を活性化させていく。	姉妹都市である大韓民国金海市及びパートナーシップ都市のブルガリアカザンラック市と行政レベルでの交流を継続していくことで、恒久的な繋がりを築いていくとともに、市民活動団体など民間レベルでの交流が活性化するよう支援体制を構築する。	姉妹都市交流事業数	4	5	↑	1,458	1,606	↑
グローバル 人材の育成 と国際交流 の推進	国際交流の 推進と体制 の整備	国際交流事業	子ども育成課グローバル人材育成係	市民、市民活動団体、宗像市に在住又は通学している外国人が、民間レベルでの国際交流が活発になり、市民の異文化への理解と国際感覚の醸成が進む。	民間レベルでの国際交流活動の充実・発展のため、国際交流団体同士の連携の促進や事業の実施を支援する。 また、市民の国際交流の機会の充実を図る。	国際交流関連イベント参加者数(学校訪問を含む)	159 (840)	241 (966)	↑	330	378	↑

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の生きがいづくり	大島福祉センター管理事業	健康課保健福祉政策係	利用者が、安全・快適に施設を利用することができる。	指定管理にかかる事務事業の実施施設及び設備の点検実施を行う。	利用者数	4612	2815	↓	1,375	908	↓
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	地域介護予防活動支援事業	健康課健康推進係	地域において介護予防に資する活動を行っている団体等が、主体となり、コミュニティ・センターや自治公民館など、市民が身近に集まることができる場所で、介護予防に資する取り組みを実施している。	○高齢者に携わる各団体等に対し、介護予防の知識の普及を図り、活動を効果的にするための情報提供及び研修等を実施する(情報交換会:年4回、食生活改善推進員対象の研修:年4回)。○事業利用団体に対して、講師紹介及び講師料の支援を行う。○介護予防事業として新規に教室を立ち上げる団体や地域の支援を行う。	地域活動実施団体向け研修会開催数	8	8	→	624	2,566	↑
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	高齢者予防接種事業	健康課健康推進係	市民が、予防接種により感染症の抗体を獲得することで、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する。	高齢者に対する定期予防接種(インフルエンザ、高齢者肺炎球菌)を実施する。	予防接種関係機関との連携	100	100	→	58,735	61,420	↑
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の社会参画	シルバー人材センター補助事業	高齢者支援課高齢者サービス係	60歳以上のシルバー人材センター登録者が、就労や生きがいづくりで活動できる場所がある。	シルバー人材センターに対し事業費の補助及び事業運営の支援を行う。	シルバー人材センター会員数	597	615	↑	10,010	11,010	↑
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の生きがいづくり	シルバー農園事業	高齢者支援課高齢者サービス係	おおむね60歳以上の市民に対しが、野菜、花等の栽培を通して、農業に対する理解を深めるとともに、利用者相互のふれあいを図ることで、高齢者の介護予防及び生きがいづくりにつながる。	高齢者の介護予防や生きがいづくりを目的に、農園の貸付を行う。運営については各農園で自主的に行えるように支援をする。	農園利用者数	293	283	↓	751	633	↓
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の生きがいづくり	生きがいづくり助成事業	高齢者支援課高齢者サービス係	高齢者が、健康でいきいきしている。	市老人クラブ連合会の活動の支援と活動費の助成、地区老人クラブの活動費の助成と指導を行う。老人クラブが地域で高齢者の支援活動が行えるように体制整備を進める。敬老祝金は長寿を祝う。	シニアクラブ会員数	2213	2080	↓	11,952	12,199	↑
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	訪問型サービスA(短期集中予防サービス)	高齢者支援課高齢者サービス係	要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を構築する。	二次予防事業対象者に訪問型介護予防事業(訪問型サービスA)サービスを提供する。	利用者数	—	49	↓	—	286	↓
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	通所型サービスA(短期集中予防サービス)	高齢者支援課高齢者サービス係	要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を構築する。	二次予防事業対象者に通所型介護予防事業(通所型サービスA)サービスを提供する。	利用者数	—	334	↓	—	4,767	↓
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	介護予防ケアマネジメント事業	高齢者支援課高齢者サービス係	総合事業の対象者が、個々の生活状況や健康状態に応じた総合事業を利用し、身体機能の著しい低下を招くことなく、介護を要する状態に移行していない。	総合事業利用者の介護予防ケアプランを作成し、事業利用後の評価を行う。	作成件数	—	383	↓	—	2,362	↓
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	訪問型サービスC(短期集中予防サービス)	地域包括支援センター介護予防係	要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を構築する。	基本チェックリスト(25項目の生活機能評価)で把握した二次予防事業対象者に対し、保健師、看護師、歯科衛生士等による訪問指導を行い、状況把握や二次予防事業対象者に向けた介護予防事業の紹介と個別指導を行う。	通所型サービスCから一般介護予防へ移行した人数	25	17	↓	7,284	7,942	↑
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	通所型サービスC(短期集中予防サービス)	地域包括支援センター介護予防係	要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制を構築する。	二次予防事業対象者に通所型介護予防事業(運動器機能向上事業、栄養改善事業、口腔機能向上事業、うつ・認知症予防事業)サービスを提供する。	事業利用実人数	272	185	↓	20,994	13,011	↓

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	介護予防ケアマネジメント事業	地域包括支援センター 介護予防係	総合事業の対象者が、個々の生活状況や健康状態に応じた総合事業を利用し、身体機能の著しい低下を招くことなく、介護を要する状態に移行していない。	総合事業利用者の介護予防ケアプランを作成し、事業利用後の評価を行う。	二次予防事業利用者 プラン作成数	371	423	↑	2,381	4,348	↑
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	介護予防ケアマネジメント事業	地域包括支援センター 地域包括支援係	二次予防事業対象者が、介護が必用な状態にならないようにする。	総合事業利用者の介護予防ケアマネジメントを通じ、個々の高齢者に即したサービスを提供していく。	二次予防事業利用者 プラン作成数	371	423	↑	6,830	15,724	↑
高齢者の健康づくり、生きがいづくり、場づくり	高齢者の健康づくりと介護予防	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域包括支援センター 地域包括支援係	多様な生活課題や悩みを抱えている高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるようにする。	・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、地域包括支援センターの保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが互いに協働し、民生委員や関係機関との連携の充実を図りながら包括的・継続的に支援する。・ケアマネジャー及び主任ケアマネジャーへのスキルアップを図るために連絡会・研修会を開催し、ケアマネジャー等に対する処遇困難事例等への積極的な支援を行う。・総合事業(介護サービスの予防給付から移行して地域支援事業として実施するもの)の構築を図る	処遇困難事例相談件数	155	170	↑	12,175	2,492	↓

事務事業の概要

事務事業名	保健福祉推進事務				事業番号	21004
所管名	健康福祉部健康課保健福祉政策係				所管番号	340203
事務区分	その他事務	事業期間	H 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	自立した生活の支援	区分	日常生活の自立支援
	施策の方向性	身体的、経済的事情などにより、さまざまな生活課題を抱えた市民が自立して生活していくことができるように、生活課題の解消に取り組んでいきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	生活課題を抱えた市民	が	自立した生活をしていきやすいような環境を整備する。
----	------------	---	---------------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	保健福祉審議会を開催した。福祉有償運送協議会を開催した。高齢者情報誌シルヴァ、保健福祉の現況を発行した。緊急情報カードを希望者に対して、民生委員児童委員を通じて配布した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標							
活動指標	保健福祉審議会開催数	保健福祉審議会を開催した回数	回	4	2	1	/
	福祉有償運送審議会開催数	福祉有償運送審議会を開催した回数	回	2	1	1	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			944	622	683	61	
特定財源(千円)			0	0	0	0	
一般財源(千円)			944	622	683	61	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標		保健福祉審議会では、保健福祉計画の進捗状況を報告し、施策の推進に向けた意見をいただいた。	引き続き保健福祉審議会には保健福祉計画の進捗状況等を報告するとともに福祉有償運送協議会では、登録事業者の更新等に受けた手続きを行う。
活動指標	保健福祉審議会及び福祉有償運送審議会は、それぞれ1回開催した。		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	市民活動団体による緊急情報カードの配布を通じて地域での見守り活動を推進します。	民生委員児童委員による緊急情報カードの配布を通じて、地域での見守り活動を推進した。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	障害者地域生活支援事業			事業番号	23015	
所管名	健康福祉部福祉課障害者福祉係			所管番号	340304	
事務区分	法定受託事務	事業期間	H 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等	障害者総合支援法(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律)					
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	自立した生活の支援	区分	日常生活の自立支援
	施策の方向性	身体的、経済的事情などにより、さまざまな生活課題を抱えた市民が自立して生活していくことができるように、生活課題の解消に取り組んでいきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	障がい者とその家族	が	相談支援や福祉サービスを活用しながら、安心して地域で生活ができるようになる。
----	-----------	---	--



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	障がい者が地域で安心して生活できるように、相談支援事業の充実を行うとともに、地域生活支援事業を実施した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標							
活動指標	相談支援事業実績	障害者生活支援センター及び地活みどりの相談支援年間件数	件	8082	7620	7588	/
	日常生活用具実績	年間給付件数	件	1839	1655	2043	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			91,446	117,754	64,417	▲ 53,337	
特定財源(千円)			22,541	70,751	22,887	▲ 47,864	
一般財源(千円)			68,905	47,003	41,530	▲ 5,473	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標		相談支援の実人数は大きく変化がないのに対し、相談件数はやや減少してきている。ここ数年の相談支援により、不安が取り除かれ、障害者が安心して地域で生活できることに繋がった。	相談支援については、件数は減少傾向であるが、相談内容は多岐にわたり、難しくなっている。相談員のスキルアップや提供するための情報収集が重要になってくる。
活動指標	→		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
協働の推進		
	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進		

事務事業の概要

事務事業名	生活困窮者自立支援事業				事業番号	23005
所管名	健康福祉部福祉課生活保護係				所管番号	340301
事務区分	その他事務	事業期間	H 27 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等	生活困窮者自立支援法					
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	自立した生活の支援	区分	経済的な自立支援
	施策の方向性	身体的、経済的事情などにより、さまざまな生活課題を抱えた市民が自立して生活していくことができるように、生活課題の解消に取り組んでいきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	生活困窮者	が	自立した安定的な生活ができるようにする。
----	-------	---	----------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	自立相談支援事業として生活困窮者を対象に広く相談を受け、その人に応じた自立支援プランを立て、家計相談支援事業等の法定事業や他法他施策へのつなぎ等により課題解決し、自立した生活を送れるよう支援した。関係機関との連携により、困窮者の早期支援に努めた。任意事業の調査検討を行い、相談窓口業務の委託化を検討した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	相談支援により就職した者の数	人数	0	16	19	20	
活動指標	支援調整会議開催回数	回数	0	63	61	/	
		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比		
事業費(千円)		0	5,373	6,299	926		
特定財源(千円)		0	3,819	4,515	696		
一般財源(千円)		0	1,554	1,784	230		



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	生活困窮者自立相談支援の取組みは、事務事業の目的である、相談者の就労自立、家計管理による生活の安定といった課題解決につながった。	活動指標である支援調整会議開催回数増に向けて、窓口周知の継続と関係機関との連携が必要である。今後は連携体制づくりに取り組んでいく。
活動指標			
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	・相談窓口業務の委託化を検討する。	支援調整会議において、社会福祉協議会(貸付担当)からの定例参加を継続して行った。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	家族介護支援事業				事業番号	25005
所管名	健康福祉部高齢者支援課高齢者サービス係				所管番号	340901
事務区分	その他事務	事業期間	H 年度 ~ H 年度	終了見込有無		
根拠法令等	宗像市高齢者支援事業実施要綱					
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	自立した生活の支援	区分	日常生活の自立支援
	施策の方向性	身体的、経済的事情などにより、さまざまな生活課題を抱えた市民が自立して生活していくことができるように、生活課題の解消に取り組んでいきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	要介護高齢者を在宅で介護している家族	が	経済的・精神的負担を軽減され、要介護高齢者と家族が住みなれた地域で生活できるようになる。
----	--------------------	---	--



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	事業の周知を行うとともに、介護用品給付サービスについては、専門職による訪問や指導による適正な運用を行った。徘徊高齢者家族支援サービス事業では、捜してメール配信事業の周知と登録者の推進を行った。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	要介護者に占める介護用品利用者の割合	要介護者に占める介護用品利用者の割合	%	9	8.2	7.4	8
活動指標	利用状況	介護用品実利用者数(登録者)	人	350	357	321	/
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			19,706	22,567	21,715	▲ 852	
特定財源(千円)			15,765			0	
一般財源(千円)			3,941		21,715	21,715	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	介護用品(紙おむつ)実利用者数は、利用者の入院、入所などの要因から減少した。	介護用品(紙おむつ)給付の取り組みについては、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、事業の周知を行うとともに、今後も訪問等による、支援・指導を継続する。併せて、調査等の簡素化も検討し、事務の効率化を図る。
活動指標	↓		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
協働の推進	地域や市民活動団体と協働し、高齢者を地域で支える体制整備を行う。	徘徊高齢者捜してメールの登録者と協力サポーターの登録者数は徐々に増加している。
	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進		

事務事業の概要

事務事業名	地域自立生活支援事業				事業番号	25009
所管名	健康福祉部高齢者支援課高齢者サービス係				所管番号	340901
事務区分	その他事務	事業期間	H 年度 ~ H 年度	終了見込有無		
根拠法令等	宗像市高齢者支援事業実施要綱					
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	自立した生活の支援	区分	日常生活の自立支援
	施策の方向性	身体的、経済的事情などにより、さまざまな生活課題を抱えた市民が自立して生活していくことができるように、生活課題の解消に取り組んでいきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	調理することが困難な高齢者	が	住み慣れた地域で安心して自立生活を送れる。
----	---------------	---	-----------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	事業の周知を行うとともに、専門職による調査や案内・指導により、適正な運用を行った。介護予防・日常生活支援総合事業の開始に合わせ、対象者の一部を総合事業へ移行し充実を図った。						
成果指標	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
活動指標	配食数	延べ配食数	食	12241	8032	6703	/
	利用者数	利用者数	人	81	53	45	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			8,759	5,766	4,831	▲ 935	
特定財源(千円)			5,255	3,686		▲ 3,686	
一般財源(千円)			3,504	2,080	4,831	2,751	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)	
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因			
成果指標	活動指標である配食数、利用者数は、民間事業者利用等により減少している。	配食サービス事業は、見守り・安否確認と併せて、平成28年度からは栄養改善を主目的とした総合事業に一部移行し、「自立した生活の支援」の推進を図ったが、民間事業所が増え、自費だけの利用者も増加するなど利用者は減少した。	事業の周知・案内を行うとともに、委託する配食サービス事業者に対し魅力ある献立など適切な指導等を行い、充実し継続した事業展開を進める。	
活動指標				↓
事業費				↓

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	地域の協力を得て、支え合いの体制整備構築に取り組みます。	地域での見守りは徐々に、浸透しており、今後も支えあいの体制づくり支援に取り組む。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績

事務事業の概要

事務事業名	生活管理支援事業				事業番号	25011
所管名	健康福祉部高齢者支援課高齢者サービス係				所管番号	340901
事務区分	その他事務	事業期間	H 年度 ~ H 年度	終了見込有無		
根拠法令等	宗像市高齢者支援事業実施要綱					
第2次宗像市総合計画	政策	元気を育むまちづくり	施策	自立した生活の支援	区分	日常生活の自立支援
	施策の方向性	身体的、経済的事情などにより、さまざまな生活課題を抱えた市民が自立して生活していくことができるように、生活課題の解消に取り組んでいきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	介護認定を受けていない社会的適応が困難な高齢者	が	要介護状態にならないよう予防する。
----	-------------------------	---	-------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	事業の周知を行うとともに、専門職による訪問や指導により、適正な事業運用を行った。介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、生活管理指導員派遣事業を総合事業へ移行したため、短期宿泊事業のみの事業内容となった。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標							
活動指標	指導員派遣利用状況	延べ利用時間	時間	1157	751	0	/
	短期宿泊利用状況	延べ利用者数	人	12		45	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			2,313	1,205	189	▲ 1,016	
特定財源(千円)			1,388	723	0	▲ 723	
一般財源(千円)			925	482	189	▲ 293	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	活動指標である指導員派遣利用状況は平成28年度より総合事業へ移行のため、実績はなし。短期宿泊利用状況は延べ45人の実績となった。	生活支援ショートステイ利用者の件数は前年度より増加し、介助する家族等の支援の向上につながった。	住み慣れた地域で安心してできるだけ自立した生活ができるよう、行政と地域の支援が必要である。そのため、今後も継続して適正な事業展開に取り組んでいく。
活動指標			
事業費			

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	避難行動要支援者支援事業	地域安全課 地域安全係	災害発生時に自力で避難することが困難な人が、避難しやすいように地域で支え、助け合う仕組みづくりを進める。	台帳整備のための郵送調査の実施、事業の周知・広報(広報紙への掲載、チラシ・パンフレット等の作成・配布など)、自治会・民生委員児童委員への活動支援(対象者リストの作成・提供、台帳の整備・管理など)、台帳システムの維持・管理、個別支援プラン作成支援	事業実施自治会数 (事業を実施している自治会数/全自治会数)	100	100	→	604	1,006	↑
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	地域福祉推進事業	健康課保健福祉政策係	社会福祉協議会が、地域福祉活動計画の実践、福祉の里づくり事業の推進と小地域福祉会の組織と活動の充実、地域福祉・在宅福祉の推進、ボランティア活動の推進、福祉教育の推進に関する事業を円滑に行えるようにする。	地域福祉活動計画の実践、福祉の里づくり事業の推進と小地域福祉会の活動の充実、地域福祉・在宅福祉の推進、ボランティア活動の推進、福祉教育の推進に関する事業補助の実施。	心配ごと相談件数	516	456	↓	66,045	66,000	↓
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	民生委員児童委員事業	健康課保健福祉政策係	民生委員児童委員が、地域で活動しやすいよう、支援を行う。	宗像市民生委員児童委員協議会事業実施の支援(全員研修、各部会研修、主任児童委員研修、各種会議等)地域での民生委員児童委員活動の支援(高齢者や児童への訪問・見守り活動、学校を中心としたふれあい部会活動)一斉改選に向けた定数・地区割りの検討	年間延べ相談・支援件数(主任児童委員を含む)	3951	4099	↑	9,434	9,271	↓
自立した生活の支援	経済的な自立支援	労働行政推進事業	健康課保健福祉政策係	市民をはじめとする求職者が、求職活動をしやすいとする。	地域職業相談室や関係事業利用者との調整、求職者への情報提供等	宗像市地域職業相談室の利用者数	25898	23883	↓	0	0	→
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	日本赤十字社宗像市地区に関する事業	健康課保健福祉政策係	市民が、日本赤十字社の活動内容を理解し、社資募集などに積極的に協力できるようにする。	日本赤十字社宗像市地区の運営及び社資募集・集金事務、市内罹災者への支援、救済物資の備蓄・管理	社資集金達成率	87.4	85.8	↓	0	0	→
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	社会福祉法人の設立及び指導監査等に関する業務	健康課保健福祉政策係	主たる事務所が市の区域にありその行う事業が本市の区域を越えない社会福祉法人が、適正に運営されるように指導、監査を行う。	福岡県の指導監査日程にあわせて指導監査を行う。また、定款変更の認可などの事務を適正に行う。	指導監査件数	5	5	→	0	0	→
自立した生活の支援	経済的な自立支援	扶助適正事務	福祉課生活保護係	生活保護制度の運営が、適正且つ効果的に行われるようにする	生活保護相談者に対して、専門の相談員により面接を行い、他法他施策の活用について詳細に説明するなど、適正な扶助認定に努める。ケース診断会議、検討会議を行い事務処理の共有化を図る。ケースワーカーの研修に参加し、スキルアップを図る。WindowsXPのサポート終了に伴う市内PCのWindows7への移行に対応するため、社会保障・税番号制度の導入と合わせて、新しい生活保護システムの導入を検討する。	面接件数	246	280	↑	14,031	14,882	↑
自立した生活の支援	経済的な自立支援	扶助費認定事務	福祉課生活保護係	経済的支援が必要な人が、自立した生活ができるようにする	適正な扶助認定や援助・指導に努めると共に、生活保護世帯の稼働年齢層の被保護者等に対し、自立支援プログラムの就労支援を活用して、自立に向けた支援を行う。また、傷病世帯、高齢者世帯等に対して、健康管理支援員を活用した病状調査や助言・指導を積極的に行い、世帯の健康管理支援や自立支援を行う。平成27年度からスタートする新たな生活困窮者支援「生活困窮者自立支援制度」と、準備段階から連携して、要保護世帯へのより効果的な支援を図る。	廃止世帯のうち、収入の増加等の理由による廃止世帯の割合	20	26	↑	1,603,192	1,576,599	↓
自立した生活の支援	経済的な自立支援	法外援助費認定事業	福祉課生活保護係	公共下水処理区域内の被保護世帯が、排水設備を整備し、生活環境の向上を図る	下水道処理区域となつて、原則、3年以内の地域の被保護世帯に対して、扶助費を支給し、宅内の排水設備(トイレ等)の改造を図る。	排水設備整備件数・排水設備改造費扶助件数	0	0	→	0	0	→

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標			事業費①(千円)			
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
自立した生活の支援	経済的な自立支援	災害援護貸付事務	福祉課生活保護係	自然災害被害者が、安定した生活を送れるようにする	防災担当課と連携をとり、災害発生時の対応を迅速に行う。	災害救援資金貸付件数	0	0	→	0	0	→
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	障害者給付及び助成事業	福祉課障害者福祉係	障がい者が、自立支援医療等を受けることで、自立した日常生活を送れるようになる。	自立支援医療の支給 補装具費の支給 特別障害者手当の支給 重度障害者年金の支給 福祉タクシー料金の助成 温水プール利用料の助成	更生医療延べ受給者数	232	243	↑	167,737	176,439	↑
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	障害者福祉一般事務事業	福祉課障害者福祉係	障がい者が、障がい者理解の啓発により、地域で安心して暮らすことができる。	障害者施策の周知及び障がい者理解のための啓発を行う。 第4期宗像市障害福祉計画の推進及び進行管理を行う。	啓発事業件数(人権街頭啓発、図書館掲示、作品展、まごころ市支援)	8	11	↑	3,917	3,921	↑
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	障害者介護給付事業	福祉課障害者福祉係	障がい者が、自分の希望や生活状況に合わせて必要なサービスを効果的に活用し、自立した生活ができる。	居宅介護(ホームヘルプ)、生活介護等の介護給付を行う。	介護給付費等給付額	1004849	1,142,283	↑	1,004,849	1,142,283	↑
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	障害支援区分認定審査会事業	福祉課障害者福祉係	障害福祉サービス利用希望者が、調査や適正な区分の認定により、その人の状態に合わせたサービスを利用することができる。	障害支援区分認定審査会を定期的に行い、適正な調査及び区分認定を行う。	調査実施者数	173	138	↓	2,955	2,556	↓
自立した生活の支援	経済的な自立支援	障害者訓練等給付事業	福祉課障害者福祉係	障がいのある人が、職業訓練を受けることで、福祉的就労から一般就労へ移行し、経済的自立ができ、また、生きがいのある生活を送ることができる。	障がい者が一般就労し、地域で経済的にも自立した生活を送れるように、就労支援を行う。	就労移行支援・就労継続支援からの一般就労者数	9	18	↑	501,149	534,741	↑
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	旧措置者事務	介護保険課介護保険係	旧措置者の自己負担額が、介護保険制度導入前の費用徴収額を上回らないよう、負担額を減免する。	旧措置者利用者負担額、食費、居住費更新認定業務	減免認定申請者数	4	4	→	1	1	→
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	低所得者対策事務	介護保険課介護保険係	低所得の第1号被保険者及び低所得の第2号被保険者で障がい者が、低額で介護サービスを受けられるよう、利用負担額を軽減する。	訪問介護利用者負担額減額認定業務、社会福祉法人利用者負担軽減認定業務	社会福祉法人利用者負担軽減認定者数	1	1	→	0	0	→
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	援護事業	高齢者支援課高齢者サービス係	戦没者遺族などが、戦没者を追悼し、世界の恒久平和を祈念するとともに遺族の精神的な援護を行う。	特別弔慰金、特別給付金の事務を適正な実施。追悼式の開催。(平和祈念碑が建てられた場合には、追悼式に代わって平和記念式典の開催→総務課)	戦没者追悼式参列者数	0	0	→	24	64	↑
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	高齢者福祉一般事務費	高齢者支援課高齢者サービス係	高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活できること	相談や申請があった場合、的確な対応と事務処理を行う。		-	-	→	2,131	145	↓
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	養護老人ホーム入所措置事業	高齢者支援課高齢者サービス係	環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者が、安心して生活できるようになる。	居宅において養護を受けることが困難な高齢者からの入所相談においては、入所要件である環境上や経済的な理由に該当するかどうかを充分確認し、入所判定委員会からの判定をうけた上で養護老人ホームに入所措置し養護する。	措置人数	1	2	↑	102,837	83,039	↓
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	在宅福祉サービス事業	高齢者支援課高齢者サービス係	高齢者が、在宅で生きがいのある自立した生活ができる。	庁内関係各課及び事業所職員に対して事業内容の周知に努め、事業の効果的で適正な利用を図る。軽度生活援助事業の見直しを行う。	生きがい活動利用回数	5186	2022	↓	24,351	13,387	↓
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	高齢者給付及び助成事業	高齢者支援課高齢者サービス係	高齢者が、安心して自立した生活ができる。	引き続き制度の周知を図る。適正給付に努める。	渡船利用件数	28886	28368	↓	13,641	13,459	↓

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	総合相談事業	高齢者支援課高齢者サービス係	高齢者等が、可能な限り住み慣れた地域で生きがいを持った自分らしい生活ができるようにする。 【地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。】	高齢者が住みなれた地域で安心してその人らしい生きがいのある生活ができるように、庁内関連各課、関係機関、民生委員等とも連携し、高齢者のあらゆる相談を受けて生活課題の解決を図る。	—	—	—	↓	—	971	↓
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	総合相談事業	地域包括支援センター 地域包括支援係	高齢者等が、可能な限り住み慣れた地域で生きがいを持った自分らしい生活ができるようにする。	・高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生きがいのある生活ができるように、庁内関連各課、関係機関、民生委員等とも連携し、高齢者のあらゆる相談を受けて生活課題等の解決を図る。 ・専門職員の確保及びスキルアップを図る。	相談件数	15913	15886	↓	11,821	15,540	↑
自立した生活の支援	日常生活の自立支援	権利擁護事業	地域包括支援センター 地域包括支援係	地域での尊厳のある生活が困難な状況にある高齢者やその家族等関係者が、尊厳ある生活を続けることができるようにする。また、判断能力が不十分な高齢者を法律的に保護し、生活を支えていく。	・各種啓発事業を実施する。 ・専門職員(社会福祉士等)を増員し、相談体制の充実を図る。 ・成年後見制度支援業務の一部委託を拡大し、支援体制の充実を図る。 ・法人後見の受託や成年後見制度の活用促進業務を行う「権利擁護センター(仮称)」設置の検討。	相談件数	241	536	↑	9,937	9,846	↓
自立した生活の支援	経済的な自立支援	市営住宅維持管理事業	建築課住宅係	宗像市営住宅入居者が、安全で安心な住生活を行うとともに、適正な住宅使用料を納期限内に納付すること。	・消防施設等の安全点検、草刈等管理、修繕業務 ・収入申告及び収入認定に基づく家賃の決定。住宅使用料未納者に対する督促状・催告書の発送、訪問徴収及び電話による徴収業務、長期滞納者に対する法的手段(明渡訴訟)等の実施 ・南郷団地、ゆり団地改修工事実施設計	市営住宅家賃徴収率	96.5	98.5	↑	33,884	45,111	↑
自立した生活の支援	経済的な自立支援	住宅建替事業	建築課住宅係	老朽化した市営住宅が、安全で安心な建替えを行う。	住宅建築工事(1棟2戸)、集会所解体・建築、公園整備、緑地整備の実施を行う。	市営住宅建替事業全体の進捗率	80	100	↑	600,500	118,306	↓
自立した生活の支援	経済的な自立支援	若年者専修学校等技能習得資金事業	教育政策課学務係	経済的な理由により専修学校等に通うことが困難な者が、習得資金を貸与され、希望する専修学校で修学し職業技術・技能を修得する。(福岡県若年者専修学校等技能資金貸与事業)	貸付金募集広報、貸付金返還についての案内通知と収納事務を速やかに行う。	貸与資金返還率	75	100	↑	117	153	↑
自立した生活の支援	経済的な自立支援	母子生活支援施設等入所事業	子ども家庭課子ども家庭係	①市が子どもの養育が十分にできない母子家庭の母及びこれに準ずる事情にある女子を対象に、就労も含めた社会的、経済的な自立促進を図る。 ②市が経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を対象に、無事に出産できるよう支援する。	①生活上のさまざまな問題のため子どもの養育が十分にできない母子家庭の母及びこれに準ずる女子を、母子生活支援施設に入所させて生活を支援する。②経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を助産施設に入所させ助産を受けさせる。	新規入所世帯数	2	2	→	6,930	4,684	↓

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標			事業費①(千円)			
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
自立した生活の支援	経済的な自立支援	ひとり親家庭自立支援事業	子ども家庭課子ども家庭係	市が、母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦を対象に、生活の安定と経済的に自立した生活を営むことができるよう支援する。	①母子家庭の母、父子家庭の父の就業支援策として自立支援給付金を給付し、ひとり親家庭の父または母のよりよい就業に向けた能力開発と就職活動を支援する。②母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦の修学又は疾病等により一時的に日常生活に支障が生じている母子家庭等に家庭生活支援員を派遣し、必要な支援を行う。③ひとり親家庭等の経済的自立を支援し、生活の安定を図るため、県の母子・父子・寡婦福祉資金貸付の受付、進達を行う。	自立支援者数	14	15	↑	10,490	13,115	↑
自立した生活の支援	経済的な自立支援	障害者医療事業	子ども家庭課子ども家庭係	市が市内に住所を有する者で、重度の知的障害者と判定された者、身体障害者手帳の1級又は2級に該当する者、精神障害者保健福祉手帳の1級に該当する者を対象に、医療費を支給することで、重度障害者の福祉の増進を図る。	この事業は、県補助事業(1/2補助)対象分と市単独事業として対処者を拡大して実施している事業があり、現在の給付内容で事業を継続する。	受給資格者数	1771	1,809	↑	195,770	202,615	↑
自立した生活の支援	経済的な自立支援	ひとり親家庭等医療事業	子ども家庭課子ども家庭係	市が、市内に住所を有する者で、18歳未満の児童を扶養する母子家庭の母及び児童、父子家庭の父及び児童、父母のいない児童を対象に医療費を支給することにより、児童等の保険の向上と福祉の増進を図る。	この事業は県補助事業(1/2補助)で継続して実施する。	受給資格者数	1804	1,825	↑	41,497	42,011	↑

事務事業の概要

事務事業名	離島振興事業				事業番号	8002
所管名	産業振興部商工観光課元気な島づくり係				所管番号	360103
事務区分	その他事務	事業期間	H 15 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	資源を活かした島の活性化	区分	特色を活かした島づくり
	施策の方向性	大島には、観光拠点であるうみんぐ大島のほか、砲台跡、風車展望所、沖ノ島を望む沖津宮遥拝所などの観光名所が多数あります。 地島には、離島体験交流施設、皇室に献上されるわかめや島内約6,000本ともいわれる自生のヤブ椿の群落があります。 貴重な島の資源を活かした交流の促進、島の産業強化により、島の担い手や外部人材を確保し、産業の活性化につなげ、島民が島で元気に安心して生活できる環境の整備を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	来島者、島民	が	離島振興の各種事業展開により、元気になる、島が活性化すること。
----	--------	---	---------------------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	離島活性化補助金事業のメニューで、①交流体験プログラム事業、②特産品開発事業、③中間支援機能確立事業、④島内交通検討事業、⑤情報発信強化事業、⑥教育旅行・研修受入事業、⑦漁村民泊による交流・体験事業、⑧牧場利活用事業、⑨離島遊休地利活用事業を実施。また、かんきつ類果樹オーナー制度事業を実施した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	参加者数	大島、地島で実施する各種交流体験プログラム事業の参加者数	人	1745	2091	2903	3000
活動指標	実施回数	大島、地島で実施する各種交流体験プログラム事業の実施回数	回	39	38	24	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			15,030	39,971	30,345	▲ 9,626	
特定財源(千円)			6,500	28,928		▲ 28,928	
一般財源(千円)			8,530	11,043	30,345	19,302	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	貴重な島の魅力・資源を生かした交流活性化事業の取組みは、外部人材の受入による人材の確保といった成果があり、施策の方向性である「島民が島で元気に安心して生活できる環境の整備」の推進に繋がった。	島体験プログラム事業の充実のために、中間支援組織と連携し事業を実施する必要がある。九州オルレ等構成資産を活用したウォーキングは常に人気があり周知等工夫することで来島者数の増加につながる。
活動指標	↓		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	大島、地島の市民活動団体、コミュニティ運営協議会、株式会社むななきた大島、元気な島づくり事業補助金採択団体と協働で交流体験事業を実施します。	人材交流の創出のため、交流体験プログラムを展開した。また、大学生のインターンシップの受け入れ、企業との連携による特産品の開発に取り組んだ。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	島特有の自然、歴史資源を活用した魅力的な交流活性化事業を実施することにより、若い世代や子育て家族など、これまでに大島、地島に来島したことがない人たちを呼び込む取組をします。	島の情報発信強化事業に取り組み、各種交流体験プログラムへの家族連れ等の参加者増につながった。

事務事業の概要

事務事業名	離島振興基金事業				事業番号	8003
所管名	産業振興部商工観光課元気な島づくり係				所管番号	360103
事務区分	その他事務	事業期間	H 17 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等	宗像市離島振興基金条例、宗像市元気な島づくり事業補助金交付要綱					
第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	資源を活かした島の活性化	区分	特色を活かした島づくり
	施策の方向性	大島には、観光拠点であるうみんぐ大島のほか、砲台跡、風車展望所、沖ノ島を望む沖津宮遥拝所などの観光名所が多数あります。 地島には、離島体験交流施設、皇室に献上されるわかめや島内約6,000本ともいわれる自生のヤブ椿の群落があります。 貴重な島の資源を活かした交流の促進、島の産業強化により、島の担い手や外部人材を確保し、産業の活性化につなげ、島民が島で元気に安心して生活できる環境の整備を行っていきます。				

事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	島の活性化、産業振興の推進を図るために活動する団体等	が	補助金・負担金を受けることにより活動が活発化し、島の活性化、産業振興につながる状態になることを目指す。
----	----------------------------	---	---

H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	①元気な島づくり事業推進協議会(市と大島の地元団体とで設置した協議会)が、観光資源を活かしたイベントとして七夕まつり、漁業体験事業、みあれ祭見学ツアー、島歩きガイド事業、大島観光素材体験会、遊漁船体験事業等の企画・実施、②元気な地島づくり協議会は、本格地引網事業(荒天のため中止)、漁師食堂事業、椿まつり事業等のほか、各種の交流活性化事業を実施、③元気な島づくり事業補助では、大島、地島での離島振興事業の新たな担い手と連携し、協働による取組みを実施、④交流人口増加を目的として大島花火大会の補助を行った。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	主催事業の参加者数	各島の協議会が主催する交流活性化事業の参加者数	人	1648	1384	2903	2000
	元気な島づくり事業補助金交付団体の実施事業数	元気な島づくり事業補助金制度に採択された団体が実施した事業数	回	25	30	25	30
活動指標	主催事業実施回数	各島の協議会が主催する交流活性化事業の実施回数	回	22	14	24	/
	元気な島づくり事業補助制度の採択団体数	元気な島づくり事業補助金制度に採択された団体の数	団体	8	10	6	
		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算		前年度比	
事業費(千円)		2,850	3,421	2,303		▲ 1,118	
特定財源(千円)		2,850	3,421	2,303		▲ 1,118	
一般財源(千円)		0	0	0		0	

H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	元気な島づくり事業補助制度の取組みは、少子高齢化や人口の減少によって、島民による自主的活動、自立的活動の担い手が不足している現状を解決するために、外部人材の受入による人材の確保、活用が必要不可欠となっている。	元気な島づくり事業補助制度の採択団体数を増加させるためには、周知等が必要である。そのため、今後は広報等により周知に取り組んでいく。
活動指標	↑		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
協働の推進	元気な島づくり事業補助制度を活用し、市民活動団体等と協働して、大島及び地島において離島交流活性化事業を実施する。	元気な島づくり事業補助制度を活用し、市民活動団体等と協働して、大島及び地島において離島交流活性化事業を実施した。
	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	市民活動団体等と協働で、若い世代や子育て家族が満足できるような離島交流活性化事業を実施する。	市民活動団体等と協働で、離島交流活性化事業を実施した。

事務事業の概要

事務事業名	離島体験交流施設運営事業				事業番号	39012
所管名	産業振興部商工観光課元気な島づくり係				所管番号	360103
事務区分	その他事務	事業期間	H 27 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	資源を活かした島の活性化	区分	特色を活かした島づくり
	施策の方向性	大島には、観光拠点であるうみんぐ大島のほか、砲台跡、風車展望所、沖ノ島を望む沖津宮遥拝所などの観光名所が多数あります。 地島には、離島体験交流施設、皇室に献上されるわかめや島内約6,000本ともいわれる自生のヤブ椿の群落があります。 貴重な島の資源を活かした交流の促進、島の産業強化により、島の担い手や外部人材を確保し、産業の活性化につなげ、島民が島で元気に安心して生活できる環境の整備を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	島民、漁村留学生及び来島者	が 交流を深める拠点施設となること。



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H28年度の活動内容	施設の貸館等に関する業務や適正な施設管理を行うとともに、地域の交流活性化事業の拠点施設としての機能を十分に発揮できるよう運営を行う。また、離島体験交流機能のほか、①漁村留学寄宿舎機能、②泊渡船待合所機能、③診療所機能を併せ持つ複合施設であるため、それぞれの所管する部署と連携を取りながら施設の安全性を確保した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	利用者数	離島体験交流施設の利用者数	人	—	51	63	1000
活動指標	主催事業数	離島体験交流施設として主催する事業の回数	回	—	2	2	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			0	1,921	3,289	1,368	
特定財源(千円)			0	30	43	13	
一般財源(千円)			0	1,891	3,246	1,355	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	離島体験交流施設を拠点とする取組みは島体験プログラム事業の開催拠点の位置づけが島内外に認知されるといった成果があり、施策の方向性である「元気に安心して生活できる環境の整備」の推進に繋がった。	利用者数を向上させるためには、島体験プログラムの企画立案及び実施が必要である。そのため、今後は中間支援組織主催事業の支援及び元気な島づくり事業補助金採択団体の支援に取り組んでいく。
活動指標	→		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
協働の推進	宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例に規定するコミュニティ運営協議会やその他離島振興を目的として構成された団体の施設の利用を促進する。	離島体験交流施設を拠点とする椿まつりなどの交流活性化事業を元気な地島づくり協議会を中心に実施した。また、宗像医師会による診療所機能も有しており、島民の健康維持・増進に寄与した。
	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進		

事務事業の概要

事務事業名	大島港湾施設維持管理事業				事業番号	39004
所管名	産業振興部商工観光課元気な島づくり係				所管番号	360103
事務区分	その他事務	事業期間	H 17 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	資源を活かした島の活性化	区分	島での就業機会確保と移住の促進
	施策の方向性	大島には、観光拠点であるうみんぐ大島のほか、砲台跡、風車展望所、沖ノ島を望む沖津宮遥拝所などの観光名所が多数あります。地島には、離島体験交流施設、皇室に献上されるわかめや島内約6,000本ともいわれる自生のヤブ椿の群落があります。貴重な島の資源を活かした交流の促進、島の産業強化により、島の担い手や外部人材を確保し、産業の活性化につなげ、島民が島で元気に安心して生活できる環境の整備を行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	港湾施設利用者	が	快適に利用できるよう、危険箇所等がない港湾施設の管理に努める。
----	---------	---	---------------------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	利用者が港湾施設を快適に利用できるよう、上下水道管理、電気管理、松くい虫防除業務、港湾統計調査を適正に実施した。また、港湾施設を利用して元気な島づくり事業推進協議会主催の大島七夕まつりなどを開催した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	クレーム件数	利用者からのクレーム件数	件	0	0	0	0
	活動指標	港湾統計調査	調査の実施回数	回	1	1	1
	松くい虫防除	松くい虫防除の実施回数	回	1	1	1	
		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算		前年度比	
事業費(千円)		743	684	700		16	
特定財源(千円)		40	36	40		4	
一般財源(千円)		703	648	660		12	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	上下水道管理、電気管理、松くい虫防除、港湾統計調査の適切な取組みは、利用者が港湾施設を安全かつ快適に利用できるようになり、施策の方向性である「島民が島で元気に安心して生活できる環境の整備」の推進が図られた。	利用者の安全性や快適性を向上させるためには、継続した適切な維持管理が必要である。今後、世界遺産登録も控えているため、港湾施設トイレ等の改修など、さらに適切な維持管理に取り組んでいく。
活動指標	→		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	元気な島づくり事業推進協議会(大島地区コミュニティ運営協議会、宗像漁協大島支所、宗像観光協会大島支部、株式会社ひなな)は、港湾施設を活用して離島振興のための体験交流プログラム事業を開発、実施します。	元気な島づくり事業推進協議会で主催する大島七夕まつりなどを港湾施設を活用して実施した。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	世界遺産登録推薦決定を視野に入れ、島内交通の再構築、ガイド受入体制整備、予約なしでの食事の提供、島ならではの特産品開発、販売など増加する観光客へのおもてなしサービスを拡充し、離島の魅力を高めるとともに、島民の所得向上につなげます。	世界遺産登録推薦決定を視野に入れ、島内交通の再構築により、平成29年4月から観光バスの開始、島内ガイドについては、宗像市観光ガイドボランティアでの受け入れ体制の整備を行い、島ならではの特産品開発を行い、三女神井、甘夏ボン酢、塩サイダーの開発と企業連携により、アカモクせんべい販売など増加する観光客へのおもてなしサービスを拡充した。

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標			事業費①(千円)			
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
資源を活かした島の活性化	特色を活かした島づくり	離島振興施設運営事業	商工観光課 元気な島づくり係	うみんぐ大島を訪れる人が、何度も施設を利用し、交流人口が増加することで、地域雇用の創出や旅館・民宿の増客、島内消費の増額など産業が活性化する状態	魅力ある企画イベントなどを実施し、より来場者(来島者)を増加させ、収益を上げて経営体制の安定化を図るとともに、利用者の利便性・安全性・快適性向上のための施設整備を行う。	うみんぐ大島でのイベント回数	22	24	↑	11,459	9,607	↓

事務事業の概要

事務事業名	世界遺産登録活動事業			事業番号	4006	
所管名	経営企画部世界遺産登録推進室世界遺産登録推進係			所管番号	310201	
事務区分	その他事務	事業期間	H 21 年度 ~ H 29 年度	終了見込有無	有	
根拠法令等	なし					
第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	歴史文化の保存と活用	区分	世界遺産登録推進及び保存
	施策の方向性	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は世界遺産登録後も、その価値が失われないように保存していきます。また、海の道むなかた館を通して、市民がこれら貴重な歴史文化、伝統文化に対する理解を深め、まちに愛着や誇りを持つような取組みを行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。	
対象	市民などが世界遺産登録に向けての気運を高め、歴史や自然を守るまちを目指す。



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H28年度の活動内容	7月ユネスコの諮問機関であるイコモスの現地調査が行われた。イコモス対応のため、文化庁、県及び福津市と協議を重ね、無事現地視察を終了した。また、資産周辺の修景の必要箇所の検討・修景を実施した。さらに平成29年夏の世界遺産登録に向け、大島ガイドンス施設の整備をはじめ、来訪者の増加による渋滞対策、辺津宮周辺や神湊の駐車場対策、大島島内の交通対策等、必要な事業を関係部署と連携のうえ検討・実施した。併せて啓発活動では宗像・沖ノ島世界遺産市民の会との協働による活動とともに宗像大社・RKBが開催する大国宝展に関連したイベントを都市戦略室との連携して実施した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	世界遺産サポーター会員数	世界遺産サポーター会員数の累計	人	994	918	943	2000
	『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」に関心がある人の割合	市民アンケートで「関心がある」「どちらかと言えば関心がある」と回答した割合	%	79	71	68	90
活動指標	宗像・沖ノ島市民の会各種会議	総会、理事会、ワーキンググループ会議の開催数の総計	回	12	12	12	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			65,710	62,843	56,999	▲ 5,844	
特定財源(千円)			6,500	6,351	1,522	▲ 4,829	
一般財源(千円)			59,210	56,492	55,477	▲ 1,015	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	世界遺産登録を目前に控え、市民の会の取組みは構成資産の保護と市民意識の醸成といった成果があり、施策の方向性である「まちへの愛着」に繋がった。	市民の構成資産に対する認識を高めるために、より一層の守り・伝えていく活動が必要である。そのため、今後も様々な媒体を使って啓発活動に取り組むとともに、世界遺産市民の会を中心に、啓発・保全活動に取り組んでいく。
活動指標	→		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	宗像・沖ノ島世界遺産市民の会の各団体と協働で市民参加型ミュージカルむなかた三女神記の運営・公演、資産見学、講座開催などをとおして、市民啓発に取り組む。	宗像・沖ノ島世界遺産市民の会の各団体と協働で市民啓発に取り組んだ(市民参加型ミュージカルむなかた三女神記公演鑑賞者約1400人、講座など29回)。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	宗像大社大国宝展に関連したイベントの開催、メディアを活用したPR、関係課と連携したイベントの開催。	イベントの開催やメディアを活用したPRを実施(宗像大社大国宝展関連イベント来場者数約2,000人、メディア(テレビ・ラジオ)を活用したPR事業7件、関係課と連携したイベント13回)。

事務事業の概要

事務事業名	田熊石畑遺跡歴史公園管理運営事業				事業番号	13040
所管名	市民協働環境部郷土文化課文化財係				所管番号	321202
事務区分	その他事務	事業期間	H 22 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等	文化財保護法、都市公園法					
第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	歴史文化の保存と活用	区分	歴史文化の保存
	施策の方向性	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は世界遺産登録後も、その価値が失われないように保存していきます。また、海の道むなかた館を通して、市民がこれら貴重な歴史文化、伝統文化に対する理解を深め、まちに愛着や誇りを持つような取組みを行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市民及び来訪者	が	田熊石畑遺跡を市民協働による屋外の歴史拠点施設として整備することで、歴史公園づくりを通じた市民交流を楽しみ、かつ文化財への愛着が高まることを目指す。
----	---------	---	--



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	屋外の歴史拠点施設として自治会や学校等へいせきんぐ歴史ガイドや体験学習への利用を呼びかけるため、ボランティア団体がPR用のDVDや歌を作成した。また、市民交流の場としていせきんぐ菜花園運営を進め、赤米の栽培を行い、弥生人の生活を体感するイベントとして秋祭りを開催した。さらに、村づくりいせきんぐ事業を継続し、地域の子どもたちが宗像の歴史や文化に関心や誇りを持つための基礎づくりにつなげた。なお、管理業務を東郷地区コミュニティ、個別の企画事業は市民団体田熊石畑遺跡村づくりの会へ協働委託し、地域文化財への愛着を高めるとともに効率的で地域密着型の管理運営を行った。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	手づくり整備への参加者数	手づくり整備の参加延べ人数	人	613	447		0
	入園者数	年間入園者数の総計	人	0	25996	27008	30000
活動指標	イベント開催件数	体験学習会や菜花園づくり・地域イベントなどの開催件数	件	4	10	16	
		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算		前年度比	
事業費(千円)		146,000	38,385	16,372		▲ 22,013	
特定財源(千円)		107,700	26,200	5,074		▲ 21,126	
一般財源(千円)		38,300	12,185	11,298		▲ 887	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	イベント開催は入園者数の増加に成果があり、施策の方向性である市民交流や文化財への愛着の増進に繋がった。	文化財保護意識を向上させるためには、子どもの頃からの文化財へのふれあいが必要である。そのため、今後は歴史体験学習の強化に取り組む。
活動指標	↑		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	●いせきんぐ宗像の管理を東郷地区コミュニティ、企画事業を田熊石畑遺跡村づくりの会との協働委託を行うことで、市民の文化財に対する保護意識を高める。	●いせきんぐ宗像の管理を東郷地区コミュニティ、企画事業を田熊石畑遺跡村づくりの会と協働委託を行うことができ、地域イベントの開催地や歴史学習、健康づくりの場として認知が進んだ。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	●いせきんぐ宗像ツアーガイドの育成研修を行い、沖ノ島祭祀前夜の田熊石畑遺跡の役割と世界遺産構成資産とのかかわりを来訪者へアピールする。	●市民及びボランティア対象に歴史講座を計3回開催し、来訪者に対する案内ガイドのレベルアップにつなげることができた。

事務事業の概要

事務事業名	市史編さん事業			事業番号	13053	
所管名	市民協働環境部郷土文化課郷土文化係			所管番号	321201	
事務区分	その他事務	事業期間	H 26 年度 ~ H 31 年度	終了見込有無	有	
根拠法令等	なし					
第2次宗像市総合計画	政策	賑わいのあるまちづくり	施策	歴史文化の保存と活用	区分	伝統文化の継承
	施策の方向性	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」は世界遺産登録後も、その価値が失われないように保存していきます。 また、海の道むなかた館を通して、市民がこれら貴重な歴史文化、伝統文化に対する理解を深め、まちに愛着や誇りを持つような取組みを行っていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市民	が	郷土に対する愛着心や誇りを持ち、市の発展と文化の向上に寄与する
----	----	---	---------------------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	新修宗像市史編集委員会では、平成27年度に引き続き、専門家で構成される研究協力員と市民協力員で協働して調査を行った。収集された成果は、調査内容を精査し今後の新修宗像市史編さんに活用した。宗像市史編さん審議会では進捗状況と基本方針に基づいた編集方法であるかを確認した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	自然、歴史資料の再発見数	調査記録カード	点	50	31	125	500
活動指標	市史編さん審議会、編集委員会開催	市史編さん審議会、編集委員会、編集部会の開催数	回	4	30	33	/
	資料調査の実施	市民協力員による調査人数	人	58	50	269	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			5,000	10,610	11,727	1,117	
特定財源(千円)			0	0		0	
一般財源(千円)			5,000	10,610	11,727	1,117	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	研究研究員と市民協力員の協働による史資料収集及び調査等を、各地区コミュニティや各地域で進めることにより、地元住民の自然・文化財等に愛着や関心を深める効果があった。	市民協働による史資料収集・調査を向上させるためには、専門的知識が必要である。そのため、今後は説明会や講習会を開催し資質の向上に取り組んでいく。
活動指標	↑		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	●新修宗像市史は、新修宗像市史編集委員会と市民協働でつくるもので、市民協力員・研究協力員が史資料調査・整理を行い、編集委員が取りまとめ、原稿執筆する。	●新修宗像市史編集委員会組織の充実を図ったことにより、市民協力員等の史資料収集及び調査の役割が増加した。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
歴史文化の 保存と活用	歴史文化、 伝統文化の 発信と学び への活用	海の道むなかた館展 示活用事業	郷土文化課 郷土文化係	市民、文化団体及び来館者が、海の道むなかた館を通して、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の知名度の向上、市内文化活動の継承や交流、情報発信等を行うことで、宗像地域に対する愛着や誇りを持つようにする。	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」の知名度の向上を図ると共に、春秋の特別展の開催、地域文化活動の継承・交流・発信に繋がる企画展示や催しを開催し、歴史や伝統文化に対する理解を促す。講演や、館長講座、地域学芸員養成講座等を実施し、宗像の歴史、文化の魅力の発信とその愛好者の増加を図る。歴史や文化、技術、自然等をテーマに様々な体験学習の機会を設ける。	特別展示・企画展示 の回数	5	13	↑	20,589	13,173	↓
歴史文化の 保存と活用	歴史文化、 伝統文化の 発信と学び への活用	海の道むなかた館管 理運営事業	郷土文化課 郷土文化係	来館者(施設利用者)が、快適・安全に宗像市郷土文化学習交流館(海の道むなかた館)を利用できるように施設の維持管理を適正に行う。また、施設における教育・普及・展示活動や体験学習を適正に行えるように施設整備を行う。	海の道むなかた館の安全な利用及び適切な維持管理を行う。また、施設運営に際し、ランニングコストの削減に努める。	協議会開催数	2	2	→	33,209	30,463	↓
歴史文化の 保存と活用	歴史文化の 保存	文化財調査事業	郷土文化課 文化財係	文化財が、未調査のまま破壊されないよう、開発に係る調整を十分におこなうとともに、その価値を市民に理解されるよう普及・啓発・活用を図る。	埋蔵文化財事前審査・試掘確認調査・発掘調査の実施、報告書の刊行、市内出土遺物の再整理作業を実施する。文化財保護の普及・啓発のための各種事業(文化財レブリカ、復元品、模型等の制作、展示台購入、文化財展示など)を行う。また、文化財を適切に保存していくため、文化財指定に係る調査を実施するとともに、法令に基づき指定文化財の保存修理等に対し補助金を交付する。	埋蔵文化財事前審査 件数	839	974	↑	21,320	52,108	↑
歴史文化の 保存と活用	歴史文化の 保存	文化財施設等維持管 理事業	郷土文化課 文化財係	収蔵資料・史跡が、適切に保存・管理され、市民共有の文化遺産として活用できるようにする。	大井浄水場跡へ移転した文化財収蔵品の整理及び台帳化を進め、海の道むなかた館での展示活用リスト作成を行う。また、来訪者の安全で快適な見学に供するため市内史跡等の草刈り等文化財施設の維持管理を行う。	草刈り件数	1	2	↑	1,997	1,838	↓

事務事業の概要

事務事業名	漁業集落排水処理施設事業財務関連事務			事業番号	43007	
所管名	都市建設部下水道課管理係			所管番号	350601	
事務区分	その他事務	事業期間	H 28 年度 ~ H 28 年度	終了見込有無		
根拠法令等	浄化槽法、水質汚濁防止法、宗像市集落排水処理施設条例					
第2次宗像市総合計画	政策	調和のとれたまちづくり	施策	快適な生活環境の保全	区分	生活基盤施設の管理運営
	施策の方向性	市民が快適な生活を送るため、市民、事業者、行政等との主体的かつ協働によるごみの減量や資源としての有効活用、生活公害の防止に関する取組みを進めていきます。 また、環境教育の充実を図ることで、生活環境の保全に対するさらなる意識の向上を目指していきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。		
対象	漁業集落排水処理施設の利用者	が 快適な生活を過ごすために、排水処理施設の機能の維持・保全を図ることを目的として予算編成、決算整理、資産管理、滞納整理等の事務を適正に行い、健全な財政運営を維持する。



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。							
H28年度の活動内容	施設の整備計画に基づく財政収支計画の策定 配分(シーリング)型予算編成方針の策定 適正な当初及び補正予算書の作成 公営企業会計処理への移行作業の実施						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	一般会計繰入金	基準外繰入額	百万円	73	90	67	78
活動指標	実質収支額	一会計年度の歳入-歳出=翌年度繰越金	千円	123	153	92	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			0	0	0	0	
特定財源(千円)			0	0	0	0	
一般財源(千円)			0	0	0	0	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	健全な財政運営を維持するため維持管理費の削減に努め、一般会計繰入金が増加した。	今後、施設の更新及び事業費に要した起債の償還金の増加が見込まれる。健全な財政運営を維持するために経営状況を的確に把握することが必要である。そのため、公営企業会計処理移行に取り組む。
活動指標	↓		
事業費	→		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
快適な生活 環境の保全	ごみの減量 と適正処理	分別収集事業	環境課資源 廃棄物係	廃棄物排出者が、廃棄物の中から資源物を分別して収集することにより、再生利用可能な資源物を循環させることで貴重な資源の消費を抑えることになり、増え続けるごみ量を抑え、またリサイクルによるエネルギーの節約を進めることで、地球環境の保護を進める。	排出者が廃棄物の中から資源物を分別し、再生利用可能な資源物を循環させることで貴重な資源の消費を抑え、排出されるごみ量を抑える。また、3Rを推進することで、地球環境の保全を進める。	巡回指導	8	10	↑	88,474	92,500	↑
快適な生活 環境の保全	ごみの減量 と適正処理	塵芥処理事業	環境課資源 廃棄物係	市内で発生した一般廃棄物(ごみ)が、適正に処理される。	家庭系燃やすごみを衛生的かつ効率的に収集するため民間業者を活用し行う。・指定ごみ袋等の製造管理。・宗像清掃工場の効率運営。・大島一般廃棄物処理施設の適正運営管理。・宗像市不燃物埋立処理場の適正運営管理。・一般廃棄物の収集運搬許可更新。・一般廃棄物処理基本計画(実施計画)の策定。災害廃棄物処理計画の策定。	ごみ収集業者数	3	3	→	399,286	415,204	↑
快適な生活 環境の保全	ごみの減量 と適正処理	環境美化事業	環境課資源 廃棄物係	公有地が、犬猫等の死骸や不法投棄ごみ・ボランティア清掃ごみの回収と対策をすることで、美しい環境が保たれることを目指す。	「快適な生活環境のまちづくり」の施策のもと、不法投棄を許さない・見過ごさない・自分たちの街は自分たちで守る。市民環境ボランティア活動への参加拡大を図ることにより、地域環境美化を推進する。	不法投棄監視パトロール	36	36	→	10,552	8,576	↓
快適な生活 環境の保全	ごみの減量 と適正処理	ごみ減量・リサイクル 推進事業	環境課資源 廃棄物係	市民及び市内事業所が、環境に対する意識の向上を図り、ごみ発生量の減少及びごみを適正に処理されることを目指す。	資源集団回収活動の奨励金及び生ごみ処理機購入補助金の交付を行う。・リサイクルショップの運営。・幼稚園・保育所を中心とした生ごみリサイクル元気野菜作りの普及啓発。・レジ袋削減に向けた市民、事業者、市の3者による懇談会の開催。・環境団体との協働委託等によるごみ減量やリサイクルの推進。・条例で定めている多量排出事業所に対して、減量計画書の提出を依頼し、実態把握と減量指導を行う。・計画等の基礎とするために、家庭から排出される可燃ごみの組成を調査するもの。・環境行政に関する各種統計を整理し、概要を作成するもの。・家庭系ごみが適正に排出されるよう市民に対し指導、啓発を行う。・事業所に対して、ごみを適正に処理するよう指導、啓発を行う。また、事業所ごみ適正処理研究協議会を運営する。バイオマス事業の実施。	啓発事業実施回数	67	53	↓	19,391	29,456	↑
快適な生活 環境の保全	生活基盤施設 の管理運営	玄界環境組合負担金	環境課資源 廃棄物係	玄界環境組合宗像清掃工場が、市内で排出される一般廃棄物等について安定した中間処理を行う。	宗像清掃工場の将来的な運営方法が決定次第、28年度から30年度までの3か年の宗像清掃工場基幹的改修事業を行う。	コース比	6.4	5.9	↓	1,765,242	1,650,787	↓
快適な生活 環境の保全	ごみの減量 と適正処理	環境基本計画策定事業	環境課環境 対策係	行政組織が、宗像市全域で、第2次宗像市総合計画の都市像と整合性を図りながら、本市の環境保全・創造に関する各分野の施策・事業を総合的に体系化し、環境行政のマスタープランとして作成する。これにより、宗像市の総合的な環境保全及び活用を図る。	環境調査やアンケート調査などを基に、計画の策定を行う。	進捗率 (予算執行率)	0.442	0.807	↑	6,279	5,901	↓
快適な生活 環境の保全	生活環境の 向上	し尿処理事業	環境課環境 対策係	宗像地区事務組合、し尿収集運搬許可業者(以下、許可業者)が、関係法令に則って、し尿の収集運搬及び処理を安定的かつ適正に行うこと	円滑なし尿収集運搬実施のため、し尿収集運搬許可業者と異動情報等を交換する。し尿収集運搬許可業者に、大島地区の収集運搬に伴う船賃を補助する。宗像地区事務組合に、し尿処理場の管理運営に係る経費の負担を行う。	し尿搬入量	2297	2185	↓	20,032	20,032	→
快適な生活 環境の保全	生活環境の 向上	合併浄化槽維持管理 事業	環境課環境 対策係	合併処理浄化槽を設置している世帯が、維持管理を適正に行うこと	合併処理浄化槽を設置している世帯に対し通知し、維持管理を行うため、適正に補助金を交付する	浄化槽維持管理補助 金交付世帯数	203	194	↓	5,530	5,467	↓

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
快適な生活 環境の保全	生活環境の 向上	環境調査・測定事業	環境課環境 対策係	市民が、適切な調査方法により、正確に調 査データを把握すること	自動車騒音の常時監視(自動車騒音の面的 評価)を行う。日の里産業廃棄物処理場跡 地周辺の水質調査を行う。その他、悪臭防 止法に係る苦情に対応するため、適切な事 務手続きを行う。	自動車騒音測定	1	1	-	594	648	↑
快適な生活 環境の保全	生活環境の 向上	環境保全事業	環境課環境 対策係	典型7公害の原因者等が、市民の生活環境 の悪化や、健康被害の原因となる事象を改 善すること、または、その発生を未然に防止 すること	環境に関する市民からの苦情対応のため、 関係機関との連携や地域及び市民活動団 体の協力を得ながら、必要な調査の実施を するなど、改善を図る。	公害等に関する苦情 等対応件数	17	8	↓	758	564	↓
快適な生活 環境の保全	生活環境の 向上	畜犬事業	環境課環境 対策係	飼主が、犬猫をはじめとしたペットを適正に 飼養し、狂犬病の予防や生活環境の保全を 図ること	関係機関、地域及び市民活動団体との連携 を図りながら、狂犬病の予防や犬猫の糞 害、動物愛護の推進等を図るため、適切な 対応と適正な事務手続きを行う。	犬猫の飼養に関する 苦情件数	36	37	↑	2,854	3,053	↑
快適な生活 環境の保全	生活環境の 向上	火葬場運営事業	環境課環境 対策係	市が、適正に火葬場の管理運営を行うこと	公衆衛生その他公共の福祉の見地から、火 葬業務を行うため、火葬場の管理運営を適 正かつ効率的に行う。環境面からダイオキ シン類排出に係る新規制に対応した火葬炉 6炉により火葬需要の増大に対応する。家 族葬の対応など時代のニーズに合った火葬 サービスの提供を行う。	火葬件数	898	911	↑	56,782	60,696	↑
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	排水設備工事受付事 務事業	下水道課事 業係	使用者の汚水が、適正に下水処理できよう になり併せて使用料金賦課できるようにな る。	・水道の包括委託に合わせて、審査受付、 検査業務の上下水併せての包括委託協議 の推進する。(上下水道の申請、検査、料金 一括調定の包括委託を進める)	申請処理件数	484	458	↓	0	0	→
快適な生活 環境の保全	生活環境の 向上	合併処理浄化槽整備 事業	下水道課事 業係	地形や地理的に公共下水道等の恩恵を受 けられない建物が、水洗化され、生活雑排 水も適正処理される。	生活環境の向上及び釣川水域の水質保全 のため、市内在住の合併処理浄化槽設置 者に対し補助を行なう。	合併処理浄化槽設置 件数	8	3	↓	9,433	2,796	↓
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	排水設備改造工事推 進事業	下水道課事 業係	下水道処理区域内にある建物管理者が、供 用開始から3年以内に宅内改造工事ができ るように資金の貸付を行う。	下水道の処理開始区域になって3年以内の 建物に対し、改造資金の無利子貸付を行 う。	排水設備改造件数	2	1	↓	1,008	230	↓
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	公共下水道維持管理 事業	下水道課事 業係	下水道施設を、適正に維持管理することに より、終末処理場で効率的な運転を行なう。 また、道路陥没や段差等による事故を未然 に防げ。 雨水排水においては速やかな雨水の排除 により、安全で衛生的な環境を確保する。	管渠内清掃、各施設の修繕・管理、浸入水 防止工事を実施する。雨水排水路及び調整 池等の維持管理を行なう。	人孔及び公共樹の取 替及び補修件数	258	323	↑	134,135	121,176	↓
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	漁業集落排水処理施 設建設事業	下水道課事 業係	建築等に併い公共樹等を設置することによ り、下水道が使用できるようになる。	漁業集落排水区域内の公共樹設置及び改 良工事を行なう。	公共樹等設置件数	5	1	↓	26,847	112,089	↑
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	漁業集落排水施設維 持管理事業	下水道課事 業係	下水道施設を適正に維持管理することによ り、処理場で効率的な運転を行なう。 また、道路陥没や段差等による事故を未然 に防ぐ。	漁業集落排水区域内の管渠清掃、各施設 の修繕・管理を行なう。	人孔及び公共樹の取 替件数	30	67	↑	6,751	11,626	↑
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	汚水施設建設事業	下水道課事 業係	整備地区の建物等が、下水道を安定的に使 用できるようになる。	汚水管渠築造工事を実施し、また、公共樹 の設置を行なう。汚水幹線上の老朽蓋の取 替を行なう。老朽化が進む管渠施設の長寿 命化対策を進める。	下水道整備面積	2676	2676	→	176,648	162,161	↓
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	処理場施設建設事業	下水道課事 業係	処理場施設が、長寿命化計画に基づいた改 善を行うことで、耐用年数の延長と、将来経 費の節減を図れる。	H26長寿命化実施計画に沿って、処理場及 びポンプ場の改築と耐震対策を進めていく	総合健全度	3.3	3.3	→	51,400	54,900	↑
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	処理場維持管理事業	下水道課事 業係	汚水が、計画放流水質以下で釣川に放流で きるようにする。	宗像終末処理場の維持管理を行う。	機器修繕件数	23	32	↑	458,182	440,805	↓

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標			事業費①(千円)			
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	ポンプ場維持管理事業	下水道課事 業係	汚水が、マンホール等から溢水することなく 終末処理場まで送水できるようにする。	汚水中継ポンプ場(6ヶ所)、マンホールポン プ場(73ヶ所)、雨水排水ポンプ場(2ヶ所)の 維持管理を行う。	機器修繕件数	13	10	↓	57,007	48,370	↓
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	漁業集落排水処理施 設維持管理事業	下水道課事 業係	汚水が、排水基準以下で筑前海に放流でき るようにする。	漁業集落排水地区(鐘崎、地島、大島地区) の汚水処理施設の維持管理を行う。	機器修繕件数	20	18	↓	72,467	59,998	↓
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	下水道事業財務関連 事務	下水道課管 理係	公共下水道の利用者が、快適な生活を過 すために、排水処理施設の機能の維持・保 全を図ることを目的として予算編成、決算整 理、資産管理、滞納整理等の事務を適正に 行い、健全な財政運営を維持する。	施設の整備計画に基づく財政収支計画の策 定 配分(シーリング)型予算編成方針の策定 適正な当初及び補正予算書の作成 新会計基準に則した予算書及び決算書の 作成	期間損益	441	434	↓	0	0	→
快適な生活 環境の保全	生活基盤施 設の管理運 営	漁業集落排水処理施 設事業財務関連事務	下水道課管 理係	漁業集落排水処理施設の利用者が、快適 な生活を過すために、排水処理施設の機 能の維持・保全を図ることを目的として予算 編成、決算整理、資産管理、滞納整理等の 事務を適正に行い、健全な財政運営を維持 する。	施設の整備計画に基づく財政収支計画の策 定 配分(シーリング)型予算編成方針の策定 適正な当初及び補正予算書の作成	実質収支額	152	92	↓	0	0	→

事務事業の概要

事務事業名	防犯街灯LED化推進事業			事業番号	12033	
所管名	市民協働環境部コミュニティ協働推進課コミュニティ係			所管番号	321002	
事務区分	その他事務	事業期間	H 26 年度 ~ H 28 年度	終了見込有無	有	
根拠法令等	なし					
第2次宗像市総合計画	政策	調和のとれたまちづくり	施策	自然環境の保全と再生	区分	温暖化防止対策の推進
	施策の方向性	市民とともに釣川やさつき松原、森林の荒廃防止に取り組むことで、美しい自然を身近に感じ、市民が安らぎを感じることができる取組みを進めていきます。 また、再生可能エネルギーを活用した二酸化炭素の排出量削減による温暖化防止に取り組むことで、地球環境の保全につなげていきます。 さらに、子どもの頃から、環境教育の充実を図ることで、市域のみならず地球環境を守るという意識を持つ子どもを育てていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市	が	自治会が所有する7,542基ある非LED防犯街灯のLED化を推進していく。
----	---	---	---------------------------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	市内に約7,600基ある自治会管理防犯灯のうち約3分の2(H27年度施工の残り分)をLED化し、二酸化炭素の排出量削減による温暖化防止に取り組むことで、地球環境の保全を図った。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	既存自治会管理防犯灯のLED防犯街灯への切替設置数	LED防犯街灯切替済の割合	%	0.4	33.2	100	100
活動指標	年間CO2削減効果	25.4kg×LED防犯街灯切替数	kg	762	63856	1934972	/
	年間電気料金削減効果	1,572円×LED防犯街灯切替数	円	47160	3952008	11975496	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			8,867	48,708	92,796	44,088	
特定財源(千円)			0	0		0	
一般財源(千円)			8,867	48,708	92,796	44,088	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	既存自治会管理防犯灯をLED化することで、年間CO2の削減に繋がった。 また、自治会が負担する電気料金の削減にも繋がった。	本年度で終了となるため特になし。
活動指標	↑		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	各自治会における防犯灯の管理状況を踏まえ整備を進め、必要に応じて協議を行うことで、地域との協働による二酸化炭素の排出量削減、温暖化防止に取り組む。	各自治会における防犯灯の管理状況を踏まえ整備を進め、必要に応じて協議を行うことで、地域との協働による二酸化炭素の排出量削減、温暖化防止に取り組むことができた。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	-	-

事務事業の概要

事務事業名	消化ガス発電設備建設事業			事業番号	43005	
所管名	都市建設部下水道課事業係			所管番号	350602	
事務区分	その他事務	事業期間	H 26 年度 ~ H 28 年度	終了見込有無	有	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	調和のとれたまちづくり	施策	自然環境の保全と再生	区分	温暖化防止対策の推進
	施策の方向性	市民とともに釣川やさつき松原、森林の荒廃防止に取り組むことで、美しい自然を身近に感じ、市民が安らぎを感じることができる取組みを進めていきます。 また、再生可能エネルギーを活用した二酸化炭素の排出量削減による温暖化防止に取り組むことで、地球環境の保全につなげていきます。 さらに、子どもの頃から、環境教育の充実を図ることで、市域のみならず地球環境を守るという意識を持つ子どもを育てていきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	処理場が購入する電気代	が	削減するとともに、CO2排出量を削減することができる。
----	-------------	---	-----------------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	・H28年10月完成を目指して建設工事の進捗管理を行い、9月から発電を開始した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	電気購入量	電力会社からの電力購入量	千kwh	6917	7118	6187	5800
	CO2排出量(H20基準)	電気使用に伴うCO2排出量 購入量×0.387(H20排出係数)	トン	2676	2755	2394	2244
活動指標	施設整備率	工事事業費(累計)/総工事事業費(予定)	%	-	63	100	/
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			11,020	220,000	126,374	▲ 93,626	
特定財源(千円)			5,510	121,000	68,339	▲ 52,661	
一般財源(千円)			5,510	99,000	58,035	▲ 40,965	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↑	平成28年度は、電気購入量及びCO2排出量を約13%(前年度比)削減した。	目標達成するために、安定した終末処理場の維持管理に努めていく。
活動指標	↑		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
自然環境の 保全と再生	環境保全に 対する取組 みの推進	環境活動推進事業	環境課環境 対策係	宗像環境団体連絡協議会を中心とした実行 委員会組織による市民環境イベントを開催 し、環境活動団体が日頃の活動等を発表す ることで、市民の環境への意識向上を図り、 身近な環境活動への参加を促す。	環境フェスタ実行委員会を設置し、環境フェ スタを実施する。企画委員会を設置し、ス テージイベントや各種企画について環境団 体との協働をすすめる。	参加団体数	31	37	↑	2,124	1,622	↓
自然環境の 保全と再生	環境保全に 対する取組 みの推進	環境基本計画推進事 業	環境課環境 対策係	市民が環境保全を意識し、市民・事業者・市 が協働で自然環境、生活環境に配慮した 生活を営む。	初級講座4回と、中級講座上級講座各1回 の開催を予定。	卒業生の数	53	55	↑	530	482	↓
自然環境の 保全と再生	環境保全に 対する取組 みの推進	釣川と森林保全事業	環境課環境 対策係	市民が、自然環境の保全意識を持ち、釣川 グリーンネット基本構想・計画に基づく、30年 後の「自律のまち」を目標に、釣川の水循環 ・水文化・美しい風景を守る。	エコロ館・山田ホテルの館の管理、釣川堤防 草刈、むなかた「水と緑の会」事務局及び活 動補助(釣川クリーン作戦など)、河川浄化 運動補助、釣川水系生活排水対策協議会 補助(水辺教室の開催)を継続し、宗像固有 系統のカノコユリの保存や繁殖、ホテルの再 生等の各環境関連事業にて、協働・共生の まちづくりを推進する。	ラブアース・クリーン アップ	500	雨天中止	-	14,074	13,943	↓
自然環境の 保全と再生	環境保全に 対する取組 みの推進	海岸環境保全事業	農業振興課 振興係	・「さつき松原」を市民の憩いの場・活動の場 として整備し、自然環境保全の意識向上を 図るとともに、素晴らしい松原の景観を求め て、市外からも多くの観光客が訪れる状態を 目指す。	アダプトプログラムによるさつき松原の環境 美化活動の対象エリア13.7haについて、活 動状況を検証しながらエリア拡大を検討して いく。これに加えて、さつき松原の松枯れ防 止及び景観保全のため、航空防除、地上散 布、樹幹注入、伐倒駆除、被害木調査、ボラ ンティア団体による松苗植樹活動を実施す る。	さつき松原再生プロ ジェクト(松苗植え)参 加者数	436	501	↑	14,029	14,615	↑
自然環境の 保全と再生	環境保全に 対する取組 みの推進	森林保育事業	農業振興課 振興係	・市民協働による竹林の整備及び竹の資源 活用を行うとともに、景観や水源涵養などの 森林が持つ多面的な機能が発揮されること を目指す。	森林の保全・育成事業を行う(放置竹林を減 らす対策事業及び市民サービス協働化提案 制度等による啓発事業の実施、緑の募金活 用事業の推進と林道の維持管理事業。)	緑化・森林保全活動 団体数	6	6	→	1,370	1,236	↓
自然環境の 保全と再生	環境保全に 対する取組 みの推進	荒廃森林再生事業	農業振興課 振興係	市内の荒廃森林(スギ・ヒノキの人工林)を 再整備し、森林の持つ多面的機能(水源涵 養・防災・温暖化対策など)を長年にわたり 発揮できる森林の保全を目指す。	森林環境税を活用し、荒廃した森林の再整 備事業を実施する(河東・池野・玄海地区 50haの境界選点、竹の侵入状況調査、林地 調査、間伐等の整備)	荒廃森林整備面積	607	653	↑	42,000	37,960	↓

事務事業の概要

事務事業名	シティプロモーション事業				事業番号	4008
所管名	都市戦略室秘書政策課秘書政策係				所管番号	390101
事務区分	その他事務	事業期間	H 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	情報受発信の充実	区分	シティプロモーションの充実
	施策の方向性	市内には、魅力ある資源がたくさんあります。これらの情報を広く発信、共有していくことで、選ばれるまちを目指していきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	市	が	様々な媒体を活用して広く市をPRしたり、市のプロモーションにつながる事業を実施したりすることで、市内外の人にとっての市のイメージや認知度、好感度の向上につなげます。
----	---	---	--



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	市の認知度や観光意向の向上につなげるため、特に全国豊かな海づくり大会福岡大会と『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の二つをメインに据えて、様々な媒体を活用した情報発信を行った。発信にあたっては、市民、民間企業、大学等と連携し、効果の向上を図った。宗像国際環境100人会議は、産学官民連携の強化、実践的な取組みの実施、『宗像宣言』の採択等を行い、国内外に広く発信した。MICE誘致は、福岡都市圏での議論に参画し、検討を行った。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	魅力度	市が実施するアンケート(平成26年度から実施)	%	39.4	44	41	50
	観光の意向	市が実施するアンケート(平成26年度から実施)	%	57.8	60	55	66.7
活動指標	メディア掲載回数	新聞及びテレビにて掲載、放映された回数	件	665	714	958	/
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			20,684	17,729	15,212	▲ 2,517	
特定財源(千円)			0	11,866	5,500	▲ 6,366	
一般財源(千円)			20,684	5,863	9,712	3,849	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	↓	プロモーションの実施やプレスリリースの充実・強化により、メディアの取り上げが増え、世界遺産登録に向けた動きや市の観光情報等に注目が集まることで、施策の方向性である「選ばれるまち」の推進に繋がった。	魅力度や観光意向、全国的な知名度の向上のため、世界遺産等の発信力の高いコンテンツを活用しながら、戦略的なプロモーションの実施に取り組む。また、産学官民連携により、効果の向上を図る。
活動指標	↑		
事業費	↓		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	市民や民間企業、大学等との連携を積極的に進め、プロモーション効果の向上を図る。	市民団体、民間企業、大学等と実行委員会を組織し、宗像国際環境100人会議を企画・運営した。また、様々な民間企業と連携し、テレビ、新聞など多様なメディアを活用してPRを実施した。
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
	都市ブランドサイトや子育て・教育サイトの充実を図るとともに、これらのサイトへの誘導を積極的に行う。	子育て・教育サイトに子育て中の市民であるママ・パパレポーターによる記事の掲載を行うなど、子育て世代に親しまれるよう情報の充実を図った。

事務事業の概要

事務事業名	広聴事業				事業番号	7015
所管名	経営企画部経営企画課行政改革係				所管番号	310102
事務区分	その他事務	事業期間	H 年度 ~ H 年度	終了見込有無	無	
根拠法令等						
第2次宗像市総合計画	政策	みんなで取り組むまちづくり	施策	情報受発信の充実	区分	広報広聴の充実
	施策の方向性	市内には、魅力ある資源がたくさんあります。これらの情報を広く発信、共有していくことで、選ばれるまちを目指していきます。				



事務事業の目的

施策概要にある施策の方向性を達成するため、「(誰・何)がどのような状態になることを目指すのか」を記載してください。

対象	行政組織(施策主管課など)	が	市民ニーズや行政サービスの成果を把握し、行政運営に反映させるようにする。
----	---------------	---	--------------------------------------



H28年度の事務事業の内容

H28年度の実施計画の内容を記載しています。実績に応じ、加筆・修正してください。

H28年度の活動内容	・第2次総合計画の推進にあたり、各施策の満足度・重要度を問う市民アンケートを実施した。また、各課で行うアンケートを集約し、あわせて実施することで経費の削減を図る。・全職員を対象としたアンケートを実施した。						
指標名	指標の説明・算定式	単位	実績			目標	
			H26年度	H27年度	H28年度	H31年度	
成果指標	市政への反映度	市民アンケート満足度平均値(第1次総合計画)	ポイント	3.09	—	—	0
	市政への反映度	市民アンケート満足度平均値(第2次総合計画)	ポイント	3.03	3.06	3.05	3.2
活動指標	有効回答者数	市民アンケート対象者2000人中の有効回答者数	人	739	835	877	/
	アンケート回数	市民アンケート実施回数	回	2	1	1	
			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	前年度比	
事業費(千円)			1,183	531	534	3	
特定財源(千円)			0	0	0	0	
一般財源(千円)			1,183	531	534	3	



H28年度の事務事業の評価

指標と事業費の分析		施策に対する成果の分析 (本事業が施策の達成に与えた影響)	課題と改善の方向性 (成果向上の要因と特に取り組むべき点)
前年度との比較	指標と事業費の主な変動要因		
成果指標	→	アンケートの質問事項の見直しを実施したものの、担当課からの要望等により、質問件数は増加した。市民アンケートの満足度については、昨年と大きく変化する施策は現れなかった。	経年変化を把握するために毎年アンケートを実施すべき質問と隔年あるいは5年毎などスポットで把握すべき質問等を検討し、回答する市民の負担軽減を図る。
活動指標	↑		
事業費	↑		

第2次宗像市総合計画の戦略的取組の実績

協働の推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績
都市ブランドの推進	H28年度の取組内容	H28年度の取組内容に対する実績

事務事業管理シート

2次総計 施策	2次総計 施策区分	事業名	担当課	事務事業の目的	事務事業の内容	主な指標				事業費①(千円)		
						指標名(単位)	H27	H28	対前年	H27決算	H28決算	対前年
情報発信 の充実	広報広聴の 充実	議会広報事業	議事調査課 議事調査係	多くの市民に議会活動や議会での議論などを知ってもらう。	市議会だよりの編集・発行、会議録の作成・配布、議会ライブ中継、議会録画映像の編集・発信、会議結果等の編集、ホームページの掲載。また、情報通信機器など幅広い利活用を検討し、議会をより多くの市民にわかりやすく伝えるよう努める。	議会傍聴者数	377	322	↓	5,801	6,275	↑
情報発信 の充実	広報広聴の 充実	広報事業	秘書政策課 秘書政策係	全市民が、分かりやすく理解しやすい情報や市民の共感を得られる情報を提供することができる状態を目指す。	広報紙の作成では、市民協働による紙面づくりをさらに進めるため、市民記者、広報アドバイザー、SOHO事業者とともに、市民にとってわかりやすく読みやすい広報紙を作成する。また、他市町村、コミュニティ、大学、企業などと連携し、読みたくなる紙面づくりを行うとともに、シティプロモーション効果が得られるような仕組みに取り組む。ホームページに関しては利用者にとって情報が探しやすく見やすいホームページを構築すべく、定期的な編集会議の開催、デザインの見直しなどを行う。また、子育て支援サイトなどの個別サイトについては、ママ・パパレポーターによる取材や市民の声を掲載することで市民目線の情報発信を実施する。	ホームページ訪問者数	2562	2,903	↑	34,551	33,409	↓